

# 青空 7月

真岡中学校 3年 7・8・9組

令和3年度

第4号

暑い日が続き、体育の授業や畑作業の後は、真っ赤な顔をして教室に戻ってくる生徒たちの姿が見られるようになりました。生徒たちが待ち望んでいる夏休みまで、あと1ヶ月足らずというところです。

先日、畑で育てたジャガイモの収穫をしました。大きなジャガイモに生徒たちの喜びもひとしおです。茹でてお昼においしくいただきました。残りのジャガイモを「重い」「鞆に入らない」と言いながらうれしそうに持って帰って行く生徒たちでした。



ジャガイモを切っています。



6月に、益子特別支援学校から居住地交流として、2年生の男子生徒と一緒に勉強をしに来ました。特別支援学級では、英語の授業を受けてました。



みんなと一緒に英単語を書く練習をしているところです。

家庭科の授業では、前回の生姜焼きに続き、今度は魚料理として鯖の味噌煮を作りました。黑板に書かれた調味料の分量を確認しながら作りました。自分で作った鯖の味噌煮を、みんなおいしいと言って食べました。



煮汁の分量を計量スプーンで計っているところです。

特別支援学級では、今話題のSDGsを総合的な学習のテーマとして調べています。調べたことを自分でまとめ、発表をしていく予定です。プラスチックゴミと海の問題、貧困と差別、災害など、一人一人が興味のあるテーマに取り組んでいます。

6月24日から期末テストが行われました。1年生にとっては初めて経験する定期テストです。また、昨年まで定期テストを受けていなかった上級生にとっても初めての体験でした。そこで数名に感想を聞きました。

期末テストが難しかったです。(技術)

(北島遼太郎)

難しかったけど頑張りました。100点とるように頑張りました。

(オストス愛吏)

私は期末テストを受けると聞いて家に帰ってから自分なりに勉強しました。テスト当日、休み時間も教科書を読み返したりして勉強しました。大切な言葉はノートに書いて頭に入れました。テストでは、自分なりに勉強したにもかかわらず、分からない問題がありました。その原

因は勉強の仕方です。全体を勉強した後、ここは間違えたくないと思ったところばかり勉強してしまいました。一部は何度も書いたり読んだりして、それ以外は2・3回しかやりませんでした。次の期末テストでは、一部だけでなく勉強しようと思います。初の期末テストは緊張もあり、不安もありましたが、今回の勉強を改善して次の期末テストではもっといい点を取ろうと考えています。  
(多田結花)

勉強して期末テストに挑みました。しかし、初めのほうは分かったのに、最後のほうは勉強したところと違って、頑張っと思いついて解こうとしたけれど、時間が無くなってしまいました。ほとんど空白で終わってしまったけれど、テストが返ってくるのが楽しみです。  
(仙波 海日)

## 7月の行事予定

- 1日(木) 都市総体陸上大会
- 2日(金) 県春季水泳大会 都市総体陸上大会予備日
- 3日(土) 県春季水泳大会 通信陸上大会栃木県大会
- 4日(日) 通信陸上大会栃木県大会
- 5日(月) 特別日課 部活動休止13:30下校
- 6日(日) 卒業アルバム写真撮影(吹・美・工)
- 7日(水) 3年実力テスト
- 8日(木) 校内漢字テスト
- 9日(金) 学校評議員会
- 10日(土) 都市総体各種大会  
(サッカー・ソフトテニス男女・剣道・柔道・野球・卓球・バレー)
- 11日(日) 都市総体各種大会  
(サッカー・ソフトテニス男・剣道・柔道・野球)
- 12日(月) 欠席者血液検査
- 15日(木) 校内計算テスト 真中の日 宇都宮青葉高等学園説明会(本校)
- 17日(土) 都市総体各種大会  
(サッカー・ソフトテニス女・バスケット男女・卓球・バレー)
- 18日(日) 都市総体各種大会(サッカー・野球・卓球・バレー)
- 20日(火) 1学期終業式
- 21日(水) 夏季休業~8/31
- 24日(月) ~県総体各種大会

スクールカウンセラー来校日 6日(火)、13日(火)

## お知らせ~通知表~

通知表の評定は、特別支援学級生徒の場合、通常学級で行っている教科の評定と特別支援学級で行っている教科の評定が混ざっています。通常学級での教科は通常学級生徒と同じ基準で評価しています。それに対して特別支援学級の教科は、一人一人の評価基準が違います。

なお、3年7組で通常学級と同じ内容を学習していて、定期テストなども受けている教科については、通常学級生徒と同じ基準で評価を付けています。今年は、特別支援学級で受けている教科については、「学習の様子」をつけて通常学級の評価と区別しやすくしますので、ご承知おきください。

### 個別の支援計画について

「個別の支援計画」は本人・保護者の方の願いや将来の希望(進路など)を踏まえ、実態と照らし合わせて学校と一緒に作っていくものです。「個別の支援計画」により、学習内容や支援の手立てが決まってきます。生徒の頑張りによる評価も一人一人違うのは「個別の支援計画」の目標に基づいての評価だからです。担任から提示された「個別の支援計画」に、何か疑問が生じた場合は、担任または平田までお願いします。随時面談等時間を設け、生徒本人の好きなことや得意なこと、困っていることなどを伺って、その生徒に合った目標設定にして「個別の支援計画」を作成していきます。よろしくお願い致します。

